

東由利町報

No.243 昭和51年11月1日発行 昭和42年7月21日第3種郵便物認可 毎月1日・15日発行



〈喜びの秋 暗い実り〉

夏の低温と日照不足により、冷害にみまわれた今年の稲作は例年より約一か月遅れて収穫作業がすすめられています。

本町の昨年の収穫は、史上最高の97、511俵という大豊作であったのに対し、今年は収穫皆無田が約21haあるなど、昨年に比べて39.8%の減収にあたる58、680俵の収穫にとどまるのではないかと推定されています。

喜びの秋に暗い実りを迎えた農家にとっては、今後の救済対策に期待がかけられています。

No 243

11 / 1

町功勞者に三氏決定

11月3日に 晴れの表彰式



佐藤 玉治氏



遠藤 玉蔵氏



阿部 斐四松氏

本年度の町功勞者を決める選考委員会が先ごろ開催され、昭和十九年から同三十年まで旧玉米村収入役の要職を努め、旧村合併後は、東由利村職員として出納員、経済課長などを歴任、昭和三十八年に東由利村収入役に就任以来、昨年三月まで首長の補佐役として手腕を発揮され町行政発展のために貢献された佐藤玉治氏、昭和三年から同八年にかけて旧下郷村蔵小学校、老方小学校に教員として在職、昭和四十四年県立六郷高等学校校長を退任されるまで、一環して教育の振興に尽してこられた、本町新処出身の遠藤玉蔵氏、昭和十一年に老方郵便局集配手に奉職して以来、昭和四十七年の退職にいたる三十五年余を、ひたすら地域の郵便物集配のために尽された阿部斐四松氏、の三人が選ばれ、十一月三日に挙行される表彰式で、晴れの町功勞者章が贈られることになりました。

佐藤玉治氏

半生を町政発展のために

東由利館合字館野三〇。
 明治三十七年一月十五日生。大正十一年から昭和十九年まで二十二年余にわたって、玉米農業補修学校（青年学校）教諭。昭和十九年から同三十年まで旧玉米村収入役。昭和三十年旧村合併と同時に東由利村出納員となり、以後昭和三十六年までの間に、経済課長などを歴任。昭和三十三年三月に東由利村収入役に就任、町政施行と同時に東由利町収入役となり、昭和五十年三月まで三期十二年間にわたって首長の補佐役として、健全な

遠藤玉蔵氏

昭和初期の教育振興に尽力し

平鹿郡増田町上町五十五の八（本町法内字新処の出身）。
 明治四十一年十二月十三日生。昭和三年六月、旧下郷村蔵尋常高等小学校代用教員となる。昭和五年四月に老方尋常小学校に異動、同八年三月まで訓導（講師）として奉職するなど、昭和初期における旧下郷村の教育振興に尽力された。昭和八年四月に日本大学専門部高等師範部国語・漢文科に入学、同十一年三

阿部斐四松氏

35年余を郵便物集配業務にし

東由利町蔵字下横渡百三十一の四。明治三十八年四月二十八日生。昭和十一年十二月集配手として老方郵便局に勤務する。昭和二十五年九月に郵政事務官となる。昭和四十三年四月永年勤続（三〇年）により、郵政大臣表彰を受ける。昭和四十七年三月の退職まで、実に三十五年の長年にわたり、本町における郵便物集配業務の遂行に、ひたむきな献身的な尽力をしてこられた。

月卒業。卒業後は、河辺郡下北手尋常高等小学校訓導、県立横手高等女学校教諭、山形県立鶴岡高等女学校教諭として奉職。
 昭和二十二年山形県温海町温海中学校長に就任、温海青年学校長を兼補する。昭和二十五年四月県立増田高等学校に着任、同七月同校教頭となり十四年間奉職する。昭和三十九年四月県立六郷高等学校長となり、昭和四十四年三月三十一日で同職を退く。現在は増田町教育委員として活躍中。

町政日記

9/18 定例議会。予算規模12億2,489万5千円となる。教育委員に佐藤達男、小松昌樹両氏を選任。

9/24 農政局に、ミニ総パ事業と農免道路の陳情とヒヤリング。ミニ総パとは「農業基盤総合整備事業」と言っており、農村の基礎集落を対象として、農業生産基盤と農村生活環境を総合的に整備する事業で、本年度は全国で50か所の予算がついている。本町においては、大琴を中心とした宿地域がこの制度に適した地域であるので、進行中の上の台のほ場整備事業を中核にして立案し、採択を働きかけている。

農免道路は、「農林漁業用揮発油税財源身替農道整備事業」と言っており、農業用のガソリン税を財源とする農道整備事業である。採択条件はきびしいが、なんとかして、本町としての懸案である根小屋線の線形に沿って、この事業を導入し、沿線の開発を図りたいと考え、計画内容のヒヤリングを受ける。

9/26 法内青年会30周年記念式に出席。感激したこと、戦後青年会の発足以来の記録が集録されていることであつた。正に温故知新である。

町内で最も整備が進みつつある地域として、衆目が見ているのは法内地区であろうかと思うが、青年諸君が歴史の道程を回顧する機会を持つ心が新しい発展にもつながるものと、感激を新たにしたい次第。

9/29 出かせぎ安全就労推進集会。本年は技術講習会への参加者58名。また、訓練校への通学者9名（前期）となった。昨年度の季節功勞者の総数は901人であつたが今年度は冷害の条件も加えて950名を越えたと予想される。

9/30、10/1 国道一〇七号線の改良期成同盟会を結成し、本町に事務局を置くことになったが、全線の状態が未知のため、大船渡までの实地視察をする。

10/10 前衆議院議員長谷部七郎氏の葬儀に会葬。大正十三年生れで五十歳を過ぎたばかり。有為な春秋が惜まれる。心から御冥福をお祈りする。

10/12 出羽丘陵開発協議会。開発の柱を道路、水資源未利用地開発にしぼって協議丘陵縦断線中、檜湖・横源線は本町における計画線であるが、秋田新空港（雄和町）の開港に合わせて、法内線の開通を先行させる方針になる。

町民の殿堂いよいよ着工

山村開発センター 今年16%の工事を

町民の総意で建設をスローガンに計画がすすめられてきた山村開発センターの建設がいよいよ着工され、今工事がすすめられています。

同センターの建設にあたって町では、今年二月から四月にかけて婦人会や若妻会、老人クラブ、青年会など主な社会教育団

体や農協など農林業関係団体との「山村開発センターを語る会」を開いて、建設に対する町民各層との意見交換を行いました。

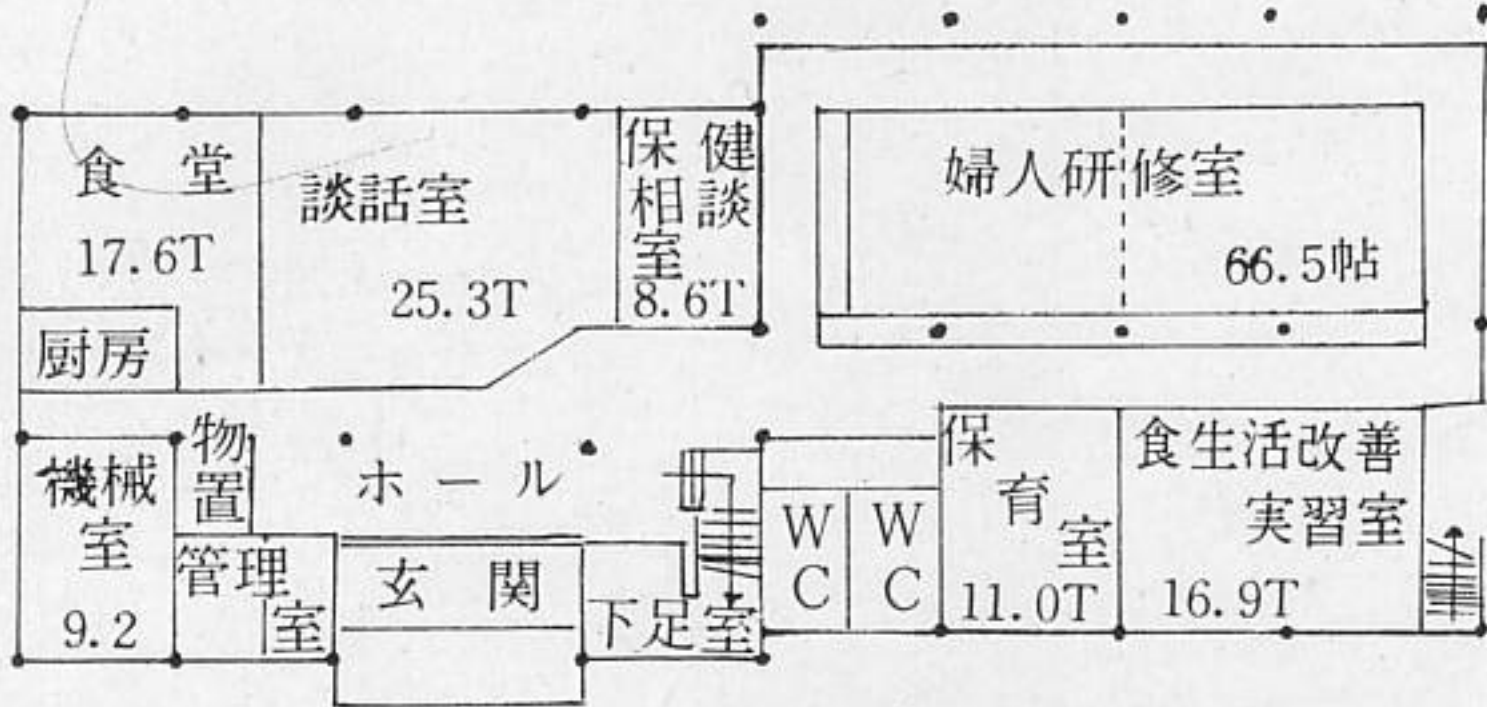
このあと、五月から同語る会で提案された意見を尊重しつつ本格的な設計に入り、県や東北農政局等とも協議を重ねたあと先ごろの発注に至ったわけですが。

同センターは、今年度と来年度の二か年の継続事業として行われるものであり、今年16%（予算上）にあたる工事が行われることになっていきます。

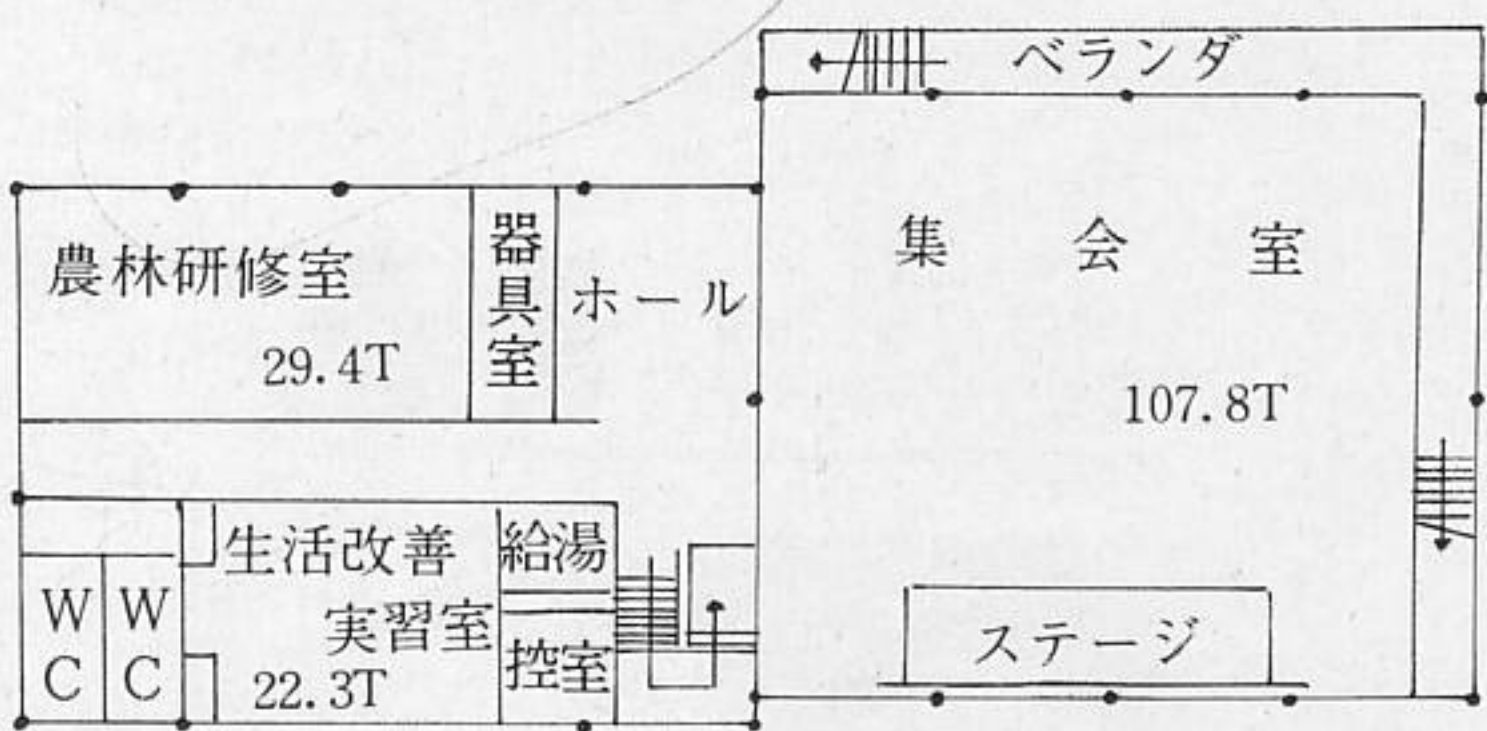
竣工は来年八月の予定ですが町民の総意を結集した「創造と合意」の拠点の殿堂として、その完成が今から待たれます。

平面図

1階



2階



建設に関する概要および平面図は次のとおり。

（施設）

構造 鉄筋コンクリート造り

二階建て

面積 一、五四五・五七平方

（四六七・五坪）

建設場所 東由利町老方字台

山三十六番（公民館となり）

（設備）

建築工事請負額 二九、五〇〇、〇〇〇円

建築工事施工者 前田建設工業株式会社

（設備）

電気設備 工事請負額 二五、九〇〇、〇〇〇円

工事施工者 山二施設工業株式会社

10/13 全国へき地教育研究会。本町の東由利中学校と住吉小学校が会場となる。研究会の成果は別記のように好評。本町教育の一步前進であり、学校、PTAの御努力に心から感謝。

10/22 臨時議会。議会終了後、全員協議会で冷害対策一〇七号線の改良陳情について協議をする。

〇機械設備

工事請負額 三九、五〇〇、〇〇〇円

工事施工者 東北電気工事株式会社

毎年10月から11月にかけては稲ワラ焼却が原因のスモッグ公害や交通障害が発生しています。昭和49年3月、県公害防止条例を改正し、稲ワラやゴム類、合成樹脂など燃焼時に著しいばい煙を発生させる物質の屋外での燃焼を禁止しています。

稲ワラの焼却は禁止されています

条件に違反して燃焼させた場合には、氏名が公表されることになっていますが、次のような場合には特例が認められています。

- ① 病害虫防除や凍霜害防止のために燃焼させるとき。
- ② 水害等で倒伏し、焼却しざるを得ないとき。
- ③ 11月11日以降で、周辺の生活環境を損つたり、交通障害を発生させるおそれがない条件のときなど。

堆肥や飼料に活用を

稲ワラは、うまい米づくりには欠くことのできない有機質肥料の原料になりますので、決して焼却せず、家畜の飼料や堆肥に利用することが望まれます。

工場の安全を祈って鉄入れする町長（地鎮祭で）



とフアイトに

究大会秋田大会終わる

この大会は、へき地小規模小学校および中学校の学校経営並びに学習指導、生徒指導上の諸問題について研究協議をするともに、全国各地におけるへき地教育の状況について理解を深め、研究成果を交流し、へき地教育の充実を図ることを目的に全国のへき地小・中学校や複式学級を持つ小・中学校の先生方などが集まり、毎年開かれていたものでした。

「新時代を開発し、主体的・創造的に生きる子どもの育成」をメインテーマに掲げた第二十五回全国へき地教育研究大会秋田大会は、去る十月十三日から三日間にわたって開催され、最終日の十五日に秋田市の県民会館で全体会を開き、大会の総括をして幕を閉じました。



東中の生徒集会が公開された (公開授業で)

このテーマに添い、初日の十三日は県内十一小・中学校を会場に分科会が開かれました。
物語的文章を媒介に 子どもたちに学ぶ喜びを
 —住吉小学校—
 この分科会では、本町の住吉小学校、東由利中学校も会場校

今秋田大会では、①へき地教育の立場から教育のあるべき姿を追求する。②本県の特徴を踏まえた課題追求を通して、本県の教育振興に寄与する。③全県民の理解と協力を結集する。④見る大会から、考え行動する大会にする。⑤新しい発想にたち今後のあり方を示唆する大会にする——の五つが研究テーマと大会のねらいでした。

走れ!! 青春



鈴木正昭君
 (舟打場)
 昭和30年4月22日生
 2人兄弟の兄貴
 (農業)

- ◇ ふだんの生活の中で、一番感じていることは何ですか。
 ◎ 農業について互いに刺激し合える仲間がほしい。
- ◇ 水田と肉用牛(肉団事業)を中心とした複合経営であるようですが、今後の経営方向についてはどう考えますか。
 ◎ 今後とも稲作プラス畜産という基本には変りないが、肉用牛をもっと増やし、畜舎の能力を十分に生かせるようにしたい。
- ◇ 今一番やってみたいことは何ですか。
 ◎ 気ままな旅行をしてみたい。それから畜産の先進地視察にも行ってみたい。
- ◇ 町の農業行政についてどう感じていますか。
 ◎ たとえば、畜産振興や堆肥づくりを奨励しながら、一方では、コンバインなどによる作業の機械化をすすめて、稲ワラをムダにしているという一面があり、指導の総合性を欠くような予盾があるのではないかと。
- ◇ 自分の性格についてどう評価しますか。
 ◎ 引っ込み思案なところがあるのでなおしていきたい。
- ◇ 仕事をしていて一番楽しいことは何ですか。
 ◎ 「ちょっとまじめに言うと」と前おきして)自分の育てた牛が成長していくのを見るときなど、仕事に対する充実感がある。
- ◇ 東由利青年の姿をどうとらえていますか。
 ◎ 都会的になって、「現代っ子」「シラケっ子」という感じがする……一面では、それが現代の青春なのかもしれない。

※ 無口でおとなしいという周囲の評判でしたが、物ごとを地道にやりとげる芯の強い性格が、ことばの端々からうかがえる好青年でした。(インタビューー 小松)

となりました。
 第五分科会場の住吉小学校では、百九十二人の参会者があり「ひとりひとりが喜びをもって学習する子どもの育成はどうあるべきか」をテーマに研究・討議が行われました。
 「国語」と「全校音楽」の公開授業のあと、同校の小松次郎教諭が研究発表を行い、国語科における物語的文章の理解を媒介として、テーマの研究を進めているという同校の実践例を報告しました。
 それによると、学習過程、課題学習、学習形態、読書指導の四つをテーマの柱とし、子どもに活字にふれさせる機会を多く持たせることにより、興味関心をおこさせ、自主的態度を身

本格的な

ヤマメの養殖にのりだす

昭和四十九年から大吹川の畠山菊男さんが経営してきたヤマメのふ化場では、これまで毎年二十万粒ほどのふ化をしてきており、その稚魚は本町の高瀬川や各支流はもちろんのこと、県内各地の清流にも放流されています。
 ヤマメは、十二度前後の冷水を適温とし、年中餌を食べ、しかもその八〇%を肉として消化(鯉などは五〇%以下)するという、養殖上の大きな利点があるというところから、これを養殖し、出荷しようとする人たち約三〇名ほどが集まり、先ごろ東由利町単水魚生産組合(田代寿治組合長)を設立しました。同組合では、来春約五万尾のヤマメの稚魚を、組合員それぞれの養殖池に入れ、夏の間に養殖すると来年の秋には第一回目の出荷ができるものとみています。
 出荷は共同で行い、生での出荷のほか、出荷量調整のため、冷凍出荷をすることも考えています。
 本町の単水魚養殖事業の前進として期待されます。同組合への加入希望者は、役場(産業経済課)にお問い合わせください。

教師の自信

全国へき地教育研



▲子どもたちの「ガンバリ」が大会を成功させた

につけさせるため、諸訓練や家庭へ学習などを実践し、効果をあげているということでした。午後からは、この研究発表を資料にして討議が行われました。

地域の特性を生かし自主性のある生徒の育成を
—東由利中学校—

一方、第十一分科会場の東由利中学校では、「生徒集会」と「学級会活動」の公開授業のあと、「自らの力で考え、発表し実践する生徒の育成はどうあるべきか」をテーマに、同校の沢田清司教諭が、自主性ある生徒像を、

○自らを失わず、集団に参加できること。

○自発的、即応的な問題（課題）が解決できること。

○価値追求的な実践ができること。

の三つをそなえた生徒と設定し、文化や生活など地域の特性に即応した、また、地域の特性を生かして目標達成につとめている同校の実践例を報告しました。

午後からは、同校の成田晴三

教諭が「生徒指導」について、

同進藤衛夫教諭が「学級会活動」について、同畑山昭一教諭が「学級指導」についてそれぞれ研究発表を行い、これをめぐって、指導助言者側からの意見も入れながら、実際に教壇に立ったときの矛盾や葛藤などについて活発な意見の交換が行われました。

また、同会場では昼食時を利用して生徒や父兄による歌やおどりの郷土芸能が披露されました。

二日目は本荘市に会場を移して

二日目の十四日は、それぞれの分科会の会場を本荘市に移し、第五分科会（住吉小学校）は本荘市役所正庁で、第十一分科会（東由利中学校）は勤労青少年ホームで、それぞれ前日に引き続き、午前九時から研究発表や研究協議などを行ったあと、



分科会の閉会式を行い、会場を三日目の秋田市での全体会へと移しました。

へき地教育の前進は東北から生まれる

この大会に全国から参加した先生方からは、「……三年生の学習形態や全校音楽などに、へき地の短所や欠点をみごとに克服している姿を見せていただいた。子どもたちのかざり気のよい健康なまなざしに、へき地教育の前進は東北から生まれる」と実感させられた」という声（住吉小学校で）や、「広い敷地ゆとりある校舎、生き生きとした生徒、ほんとうにすばらしく思い、うらやましく感じた。私たちもどうしたら自主的な子どもが育つか」研究中ですが、これを機会に何とか成果をあげたい」という声（東由利中学校で）があり、この大会が全国のへき地学校の教壇に立つ先生方に大きな自信とフアイトを与えたようでした。

年金に加入していますか

奥さん



サラリーマンの奥さん！国民年金の任意加入制度をご存知ですか。

サラリーマンの場合ご主人は勤め先の厚生年金などで老後の生活が保障されていますが、奥さん自身の年金はありません。そこで、

期間に応じた年金（通算老齢年金）が六十五歳から受けられます。

また、掛け金を納め続けていますと、不幸にしてご主人が死亡して母子世帯となったときやケガや病気で障害者となったときにも年金が受けられるなど、加入するとしないうちは大きな開きがあります。

老後の生活安定に備えて、今すぐ加入されるようおすすめします。加入の方法など詳しいことは役場（年金係）にお尋ねください。



通学用自転車のライトの整備点検を

一日一日と日暮れが早くなっています。例年この時期は無灯火自転車のいたましい交通事故が増えています。あなたのお子さんの通学用自転車のライトは大丈夫ですか。

暗やみ無灯火で走行することは、法律で禁じられています。下校時の無灯火がまだ見受けられます。

子どもを事故から守るため、自転車のライトは必ず整備点検し、故障している自転車での通学はさせないようにしましょう。

また、これと併せて、生徒の安全通学のため①登校前にはしらない。②遅刻させない。③忘れものをさせない。など家庭の協力も望まれます。

安全第一の就労を

留守家族との連絡は密接に

秋の農作業が終わると本格的な出かせぎのシーズンを迎えます。今年も冷害の影響で、農作業は例年に比べて大幅に遅れています。今年も出かせぎ就労予定者の大部分が今月の下旬までには出かせぎ就労を始めるものと見られます。

町では「出かせぎ解消」を究極の目標としながらも、当面する出かせぎの諸問題に対応する態勢の強化をねらいに、昨年度から産業経済課に専任の「出かせぎ対策係」を配置し、安全就労を中心とした種々の対策を講じ成果をあげてきました。

就労前に、必ず 互助会加入を

九月二十九日、役場を会場に開かれた「出かせぎ就労者安全就労推進集会」には、グループリーダーなど四〇名ほどが集まりました。

同集会には、町出かせぎ相談員のほか、鈴木本荘公共職業安定所長、同佐藤業務課長、本荘労働基準監督署田村第二課長らも出席し、今秋冬期の出かせぎ就労条件の動向、安全就労対策出かせぎ互助会制度の改正、各種の手続きなどについて、説明や質疑の応答が行われました。



出かせぎ就労時には役場にも連絡を

- 協議案件の各項につき、職業安定所などから次のような指摘があり、就労前、就労中に十分に留意するよう望まれました。
- ① 昭和五十一年度秋冬期出かせぎ就労の動向について
 - 今年は製造業関係の求人が多い。
 - 十月一日に本荘市で合同選考会。
 - 就労先の契約会社を変更した時には、変更前の会社とその旨を連絡すること。
 - 安全就労対策について
 - 就労前に必ず健康診断を
 - 縁故就労よりも安定所を
 - 経由した就労を。
 - 互助会加入し、出かせぎ手帳を持っていくように。
 - 各種の手続きについて
 - ③ 就労したら「雇入れ書」に確認してもらい、自分で保管する（雇入れ書は、出かせぎ労働者手帳又は出かせぎ者必携についている）作業中の事故などにかか

- る各種の証明には、元受け事業主の印が必要。
- 事業所の所属する労働基準監督署、労働保険番号も覚えておく。
- 賃金の不払いがあったときは、事業所から債務確認の印をもらってくる。
- ④ 役場からの連絡
 - 留守中（二月から三月）にある申告相談のときのため、就労先の事業所の名称や業種、日額給料等は家族にも知らせしておくように。
 - 出かせぎによる収入は、給与計算をしており、農業所得とは別に計算している。
 - 所得税と町民税は、全く違がった考えで課税されている。

製造業関係の求人増える

十月一日、本荘市民体育館で開催された合同選考会には、本荘市・由利郡内を中心に出かせぎ就労希望者約三〇〇人が集まりました。

このうち六〇%にあたる二八一人は本町の求職者で占られ、一人の方は当日就労先を決定しました。

今年の求人状況をみるとここ数年、不況の影響で求人少なかつた製造業関係事業所が今年に入って徐々に景気が回復してきたことにより求人数が増え、昨年までトップだった建設業関係の求人数を上回っています。

- ⑤ 出かせぎ互助会制度の改正について
 - 就労先で病気や事故（死亡も含む）にあった場合に支給されていた見舞金が、次のように大幅に改善されました。
 - また、これとい

| 区 | 分 | 旧 | 新 |
|--------------|------------|------|------|
| 死亡したとき | | 30万円 | 50万円 |
| 不具廃疾で労働不能の場合 | | 10 | 20 |
| 傷病により休業の場合 | 6カ月以上 | 5 | 8 |
| | 3カ月以上6カ月未満 | 4 | 6 |
| | 1カ月以上3カ月未満 | 3 | 5 |
| 火災 | 留守宅 | 5 | 8 |
| | 就労先の寮、宿舍 | 2 | 3 |

つしよに会費がこれまでの二〇〇円から六〇〇円（五十一年度は五〇〇円）に引き上げられています。

また、建設業関係事業所と製造業関係事業所との賃金格差が少なくなってきたことも今年の特徴です。

同選考会には、町出かせぎ対策のほか、小松忠亮、小松真一両出かせぎ相談員も出席し、不慣れな求職者にアドバイスをするなど親身の世話をし喜ばれました。

今年も いろいろな対策を

町では、出かせぎ就労者が安全に、安心して働くことができるようにと、今年も次のような

- 事業所訪問を行い、就労上の問題などの処理にあたる。
- お正月の帰省バス四台、年始の上京バス二台を運行し、利用していただく。
- 出かせぎ就労問題打ち合せ会を東京都で開き、就労上の問題について協議する。
- 出かせぎ就労者の短期農業研修を実施する（畜産関係施設の見学を予定）。
- 帰省後の雇用保険の事務指導を行う。
- 事業所訪問の報告や出かせぎ期間中における町に対する要望などを聞くため、出かせぎ留守家族懇談会を開催する。

税務署からのお知らせ

青色申告を しましょう

青色申告は、単に税金の面で有利になるだけでなく、帳簿をつけることによつて経営の内容や資金繰りの状況などがよくわかり、経営の合理化にも役立ちます。青色申告ができる人は、事業所得、不動産所得、山林所得などのある人です。青色申告をすると、

青色申告控除や青色専従者給与など数多くの特典があり、税金は少なくなります。

例えば、昭和五十一年分の所得が三〇〇万円、妻が事業に従事し、扶養親族が子ども二人の平均的な場合についてみると青色申告をしている人の税金は所得税のほか、住民税や事業税を合わせると約二四万円、青色申告をしていない人より約十三万円も少なく済みます。青色申告をするには、必ずしもむずかしい帳簿をつける必要はありません。

普通、商売をしている方は、売掛帳や買掛帳はつけておられ

るし、固定資産台帳は年末にまとめてつけなければいけません。毎日つけなければならぬのは、現金出納帳と経費帳だけです。

帳簿のつけ方でおわかりにならないときは、税務署や商工会へご相談ください。

パートの収入と税金

最近、パートタイムで働く主婦が多くなっていますが、年収が一定額を超えると、夫の所得から配偶者控除(二六万円)が受けられなくなったり、主婦自身に税金がかかったりします。

歴史を顧みて新しい出発を

町内見歩き



法内青年会(会員二十一、遠藤基会長)では、去る九月二十六日、同青年会結成三十周年記念集会を開催し、三十

法内青年会

30周年記念集会

年の歴史をふりかえり、新しい活動への決意を誓い合いました。当日は、冷害に悩まされる今年の稲作が少しでも良い作柄になるようにと、午前十時から豊作祈願の「みこし」をかつぎ、同地区を練り歩いた後、午後からは記念式典を行いました。

式典には、現会員のほか歴代会長、小松町長、梅津公民館長などが来賓として臨席しました。遠藤会長のあいさつに続いて昭和二十一年に同青年会の設立発起人となり、初代会長であった遠藤治郎助さんが、設立当時を回顧すれば、歴代会長を代表

した阿部重助さんは、一重一本(重箱一つ酒一升)の時代から今日の青年会に至るまでの変遷を語り、現会員を大いに刺激しました。

このあと、同青年会の永年功労者として七人の方々が表彰されました。

また、来賓として祝辞にたった小松町長は、同青年会がまとめた三十周年記念誌をかげ、「……このようにして自分たちの歴史を記録しておくことはすばらしいことです。歴史を尊ぶ文化が成長すること、過去の歴史をみてもわかります。自分たちの足跡をいつも顧りみる姿勢を失わず、いつまでもそれを大切にしていっていただきたい……」と同青年会の活動を賞賛しました。

本町のドライバー

交通マナーは全県のワースト7

県内で昭和50年中に交通違反をしたり、交通事故を起こしたりしたため、運転免許の取消しや停止などの行政処分を受けた人は15、408人でした。

このうち、酒酔い運転をして処分を受けた人は1、310人もおり、全処分者の1割近くを占めています。

酒酔い運転の危険性、悪質性については運転者が一番よく知っているはずですが、その内容を市町村別にみると処分者数には相当の差があり、市町村によって住民の交通マナーのレベルがまちまちであることがわかります。

本町の場合は12人の人が処分を受けており、人口1、000人につき1.8人の割合になります。これは全県で7番目というありがたくない数字であり本町の運転者の交通マナーが程度の低いことをものごとがたっています。

町民一人一人の勇気で運転者の飲酒を開放し、飲酒運転と交通事故がゼロの町にしよう。

| パートの年収 | 夫の所得から配偶者控除が | パート収入に所得税が |
|-----------------|--------------|------------|
| 70万円以下 | 受けられる | かからない |
| 70万円超 76万円以下 | 受けられない | かからない |
| 76万円超 | 受けられない | かかる |

◇パート収入は、通常給与所得になりますから、給与所得控除を差引いた額が二〇万円以下であれば、配偶者控除が受けられます。

つまり、年間のパート収入が七〇万円以下の場合です。

◇パート収入が年間七〇万円

を超え、七六万円以下の場合には配偶者控除は受けられませんがパート収入には所得税がかかります。

◇パート収入が年間七六万円を超えると、配偶者控除が受けられないうえに、主婦自身に所得税がかかります。

私の誓い 交通安全

こころとからだスピードに

ゆとりを

ゆとりで走ろう



町民のひろば



火災は人災 防ぐはあなた

■ 11月26日～12月2日 ■

秋の全国火災予防運動

本年も恒例の秋季全国火災予防運動を実施します。

今回は、「家族みんなが防火のそなえ」を全員そろって職場の防火が全国いっせいの重点実施事項となっています。

家庭、職場における火災予防思想の一層の徹底をはかることにより、出火防止と人命安全の確保を期することになっています。

火災は人災、防ぐのはあなたを統一標語にしたこの期間中、あなたもあなたの家庭やあなたの職場の防火について、今一度点検してください。

健康保険、厚生年金保険に加入していますか

働く人の多くは、身体ひとつを資本に働いて報酬をうけながら生活し、家族を扶養しています。

しかし、身体は生身のものですから、いつ病気やケガをすることがわかりませんし、不幸にも働かざるを得なくなるとも限りません。

また、何事もなく働いていても必ず老齢期がやってきますから老後のことを考えなければなりません。

このようなことから国では、会社や工場、商店などで働いている人を対象とした健康保険制度によって、病気やケガをしたときは医師の治療を受けたり、そのための報酬を受けられないときは、傷病手当金、あるいは、お産とか、亡くなったときも手当金が支給される仕組みをとっています。

また、厚生年金保険では、老

働いていないときは、健康保険に加入しなければならぬことになっています。

すなわち、強制適用事業所に勤務することになった人のうち日々雇い入れられる人、二か月以内の期間を定めて使用される人などを除いて「健康保険、厚生年金保険被保険者資格取得届」を五日以内に、社会保険事務所に届け出ることになっています。

この手続きが遅れたり、忘れられたりすると、急に病気になったときやケガをしたときに、被保険者証がないために困ったり、老齢年金の受給資格期間が不足して不利益をこうむることにもなります。

今一度、あなた自身の加入を確認しましょう。

善意

宿地区のお年寄りに毛布のプレゼント

秋田市在住の畑山清作さんから、宿地区の八十二歳以上のお年寄りの方々（九名）に毛布が寄贈され、これから寒い季節に向うとあって、喜ばれています。

親子運動会に

ノート一〇〇冊

上通の藤原陽太郎さんは、過日行われた老方小学校の親子運動会に際し、ノート一〇〇冊を贈り喜ばれました。

慶弔

9月21日～10月20日



誕生 おめでとう

- 鈴木 治 宿 重治 長男
- 阿部 秀美 蔵 次雄 二男
- 大日向 将也 蔵 新田 淳男 長男
- 長谷山 朋子 湯出 野 進 長女
- 斎藤 美幸 島 幸悦 長女
- 大極ルミ子 新町 福雄 長女
- 横山 慶和 向田 和男 長男



結婚 おしあわせに

- 小松 憲子 下小路 羽後町
- 後藤 道子 中ノ沢 本荘市
- 鈴木 良子 本荘市
- 工藤 チサ子 本荘市
- 斎藤 幸悦 畑 島 村
- 小松 利和子 畑 島 村
- 長谷山 忠誠 中 荘 通
- 池田 智子 本 荘 市

お悔み申し上げます
 佐々木千代松 大琴 66歳
 阿曾アキノ 宇戸坂 86歳
 小松タキ 宇戸坂 94歳

年賀ハガキ十一月五日に発売

お年玉つき年賀はがきは、十一月五日（金）全国一斉に発売されます。

今年は昨年より十一%以上も発行枚数が少ないことと、選挙含みのため大口の買い求めも予想されますので、売り切れのないうちに、お早めに郵便局またはお近くの売捌所でお買い求めください。

書き損じたハガキは交換できます

なお、売り切れのため一時お買い求めできない場合でも、各局で操作いたしますから、郵便局にお申し出くださいれば需用にお応えできるはずと郵便局では言っています。

郵便ハガキやミニレターを書き損じたり、汚したり、一部を破つたりしたものは、左記の料金で新しい郵便ハガキ、ミニレターと交換できます。

（交換手数料）
 通常ハガキ 一枚につき三円
 往復ハガキ 一枚につき六円
 ミニレター 一枚につき六円

52年4月入校の

職業訓練生を募集

県立本荘高等職業訓練校（本荘市石脇）では、来年3月卒業の中・高校生を対象に、電子機器（技術）科四〇名、塗装（技術）科三〇名を募集しています。願書の受け付けは、11月1日から。

TEL 〇一八四二

②一〇六五七

東由利町報

No 244 昭和51年11月15日発行 昭和42年7月21日第3種郵便物認可 毎月1日・15日発行



〈冬なんかに負けるもんか!〉

蔵小学校高村冬季分校の開校式が、去る11月1日に行われました。今年の在校児童は1年生が1人、4年生が2人、5年生が1人の計4人で、和田校長や佐々木教育長らの励ましのことばに、児童たちは「本校の友だちになんか負けるもんか」「冬になんか負けるもんか」とばかりに、目を輝かせていました。

児童たちは、着任した三船文樹先生といっしょに、来年3月まで分校生活を送ることになりますが、厳しい冬をのりこえ、きっとたくましく成長することでしょう。

No 244

11 / 15

冷害減収34.700俵 被害金額5億4.000万円

れいがい——
農家の人たちが
忘れられかけて
いた天災が、
いま農村を襲い
不況に悩む世
相の中で農家の
人たちに大きな
不安を与えてい
ます。
春からの異常
天候は、稲作農
家の折りも空し
く、冷夏となっ
て成育を遅らせ
たまま、秋に入



▲草刈機で稲を刈らなければならないとは…… (高村で)

ってしまいました。
収穫皆無田21ha。草刈機で稲
を刈るといふ稲作農家にとつて
は、最も残酷な事態で今年の秋
が終ろうとしています。
十月二十二日現在でとりま
めた、本町の五十一年産米の
作況指数は六一・五となつてお
り、これは数量では二〇八四ト
(三四、七〇〇俵)の減収と推定
され、金額では約五億四、〇〇〇
万円という膨大な被害金額にな
ります。
以下、推定される被害の状況
と現在すすめられている対策か
らひろってみました。

作付状況と被害状況

今年の稲作は、作付面積を品種別にみると、トヨニシキ21.5%、キヨニシキ46.9%、ヨネシロ22.6%、その他9.0%で、一方、育苗様式別には稚苗植50%、中成苗植19%、その他31%でスタートしましたが、結果としては、作付総面積1.019haのうち、収穫皆無面積21ha、3割以上減収面積499ha、3割未満減収面積499haで推定減収量2.084tという、農家にとっては近年にない暗い実りとなりました。

対策

❖栽培上の技術・管理対策

しかしながら、異常気象による天候不順だけが作柄の良、不良を決めたものであるとは決して言いがたく、人災的な要因も指摘されており、次のような栽培上の技術・管理面での改善が今後の課題とされています。

①隣り合せの水田でも生育状態が違うのを見てもわかるように、堆肥等による地力の増強を図らなければならない。②高冷地での被害が大きかったのを見てもわかるように、地域性と品種の関係を十分に考慮する。③機械植えの場合育苗の状態を見て、植え付けの時期を失することのないように。

❖農家生活対策と営農対策

①水稲共済金の支払い 対象農家 853戸 金額 137,147,000円 (共済組合では12月中に全額支払う予定とのこと)。

②税金の減免措置 被害の大きかった農家で農業所得の落ち込みが過大なものを対象に、町民税と国保税の減免措置について検討をすすめている。

③天災融資法経営資金及び自作農維持資金の借入

天災融資法が11月中に発動の予定ですので、町ではその事前の措置として同法経営資金や自作農維持資金の借入れ需要額を11月16日メ切りでとりまとめ (詳細については11月7日付役場通信に掲載) など営農計画の指導を行うことにしている。



◀県農政部長も来町、被害状況を視察した

昭和51年 (春~秋)

○はれ

△くもり

×あめ

月別天気調

| 日 | 月 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 |
|----|---|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 1 | | △ | △ | ○ | △ | × | △ |
| 2 | | × | △ | ○ | △ | △ | ○ |
| 3 | | ○ | ○ | △ | △ | △ | ○ |
| 4 | | △ | ○ | △ | ○ | △ | × |
| 5 | | △ | △ | ○ | △ | ○ | △ |
| 6 | | × | × | ○ | △ | ○ | △ |
| 7 | | △ | ○ | △ | × | ○ | △ |
| 8 | | ○ | △ | ○ | △ | ○ | ○ |
| 9 | | ○ | × | ○ | △ | × | △ |
| 10 | | ○ | △ | △ | × | △ | △ |
| 11 | | ○ | × | △ | △ | × | × |
| 12 | | △ | △ | △ | ○ | △ | △ |
| 13 | | × | △ | △ | △ | × | ○ |
| 14 | | △ | △ | × | × | × | △ |
| 15 | | ○ | × | △ | △ | △ | × |
| 16 | | △ | △ | ○ | △ | △ | △ |
| 17 | | × | ○ | △ | △ | △ | ○ |
| 18 | | ○ | △ | △ | △ | × | △ |
| 19 | | ○ | ○ | △ | ○ | △ | △ |
| 20 | | ○ | ○ | ○ | × | × | ○ |
| 21 | | △ | ○ | △ | △ | △ | × |
| 22 | | △ | × | △ | △ | △ | ○ |
| 23 | | △ | × | ○ | ○ | △ | ○ |
| 24 | | ○ | △ | ○ | × | ○ | △ |
| 25 | | × | △ | ○ | △ | ○ | × |
| 26 | | △ | △ | ○ | △ | ○ | ○ |
| 27 | | ○ | △ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 28 | | ○ | △ | △ | △ | △ | × |
| 29 | | △ | △ | △ | △ | ○ | × |
| 30 | | △ | ○ | △ | △ | △ | × |
| 31 | | △ | — | △ | × | — | △ |
| 合計 | ○ | 12日 | 8日 | 13日 | 4日 | 9日 | 8日 |
| | △ | 14日 | 16日 | 17日 | 21日 | 14日 | 14日 |
| | × | 5日 | 6日 | 1日 | 6日 | 7日 | 9日 |

力作一千百余点を会して

生活文化・農業祭

来年は山村開発センターで

町民ひとりひとりの趣味と学習成果の力作を競い合い、また町の内包する無限の可能性をさぐり合う場として、年々盛会になつていく町生活文化・農業祭は、一、四七点の展示物を会して、去る十月三十一日・十一月一日の両日行われました。

会場にあてられた本荘高校下郷分校、朋楽荘、公民館には両日延べ約二、〇〇〇人の参観者が訪れ、それぞれの力作に目を見はらせていました。

今年の特徴は、消防・防災展や農業近代化ゼミナルコーナー、愛石展などが新しく設けられたことであり、発明工夫展は小学生などの作品を中心に、あいかわらずの盛況でした。

一方、農業祭の展示物が例年に比べて若干少なかったことやステージ部門が全くなかったことで、全体として流れが単調であり、おもしろ味に欠けたという声もあり、全体の構成などいくつかの点が次回への課題とされました。

また、会場が三か所に分かれているので大儀であるという参観者からの声もありましたが、現在建設中の山村開発センターが完成すれば、来年度からは使用できますので、こうした点は解消できるものと思われま

今年出品することのできなかった、あなたノ次回はあなたの力作もぜひ展示してください。この祭に参加し、うるおいある生活と新しい東由利町へのトピラを、あなた自身の手で開いてはみませんか。

各部門ごとの上位入賞者氏名は次のとおり。

写真展

白黒写真の部(人物) 優秀賞 和田昭男(本荘市・消防分署)・寅田敏雄(新町) 白黒写真の部(風景) 優秀賞 小松昭作(下小路)

白黒組写真の部

白黒組写真の部 優秀賞 小松久徳(宇戸坂)

衣服手芸展

衣服の部 優秀賞 小松敏子(家の下) 手芸の部 優秀賞 小野ハル(館合新田)・阿部ユミ(蔵新田)・小野好夫(宿)

俳句展

選者賞(孤松選) 特選 鈴木白洋(舟木)・小松鉄牛(下通)

選者賞

選者賞(友鳳子選) 特選 小松一柿(湯出野)・畠山孤舟(横小路)

互選賞

互選賞 特選 畠山孤舟(横小路)

老人作品展

衣服手芸の部 優秀賞 佐々



表彰式風景

表彰を受けたのは佐藤玉治氏(館西)・遠藤玉蔵氏(増田町実兄遠藤吉三郎氏代理出席)・阿部典四松氏(横渡)の三氏(既報)です。

町功労者表彰式

三氏が晴れの受賞

町では、町の産業、経済、政治、社会文化などの進展に貢献し、町民福祉の増進に特に功績

のあった方や町出身で、広く社会のために貢献し、その功績が冠絶であり、郷土の誇りとして尊敬できる方などを町功労者として表彰することを条例に定めています。

今年も、長年にわたつてその道で活躍され、本町発展のために貢献された三人の方々を表彰されました。

表彰を受けたのは佐藤玉治氏(館西)・遠藤玉蔵氏(増田町実兄遠藤吉三郎氏代理出席)・阿部典四松氏(横渡)の三氏(既報)です。

表彰式は、秋晴れの十一月三日、日文化の日に町議会議員、各団体長、前表彰者、町自治功労者など五十名余りが出席し、役場会議室で午前十一時三十分から行われました。

被表彰者ひとりひとりに町長から功労章と表彰状、記念品が贈られると、そのたびに間髪をいれず万場の拍手がおこり、それぞれ功績をたたえました。

このあと、町長が次のような式辞をのべたのにつづいて、長沢議会議長や遠藤農業委員長らからは祝辞が贈られ、式典会場は表彰を祝う拍手と喜びにつつまれていました。

「……本日は表彰を受けられた方々は、いずれも明治、大正、昭和の三代の長い人生を東由利

人らしく生きてこられた方々であり、社会に対するご貢献は大きく心から敬意を表します……」

このあと、被表彰者を代表してあいさつに立った佐藤玉治氏は「……本日、このように表彰をしていただいたことは身にあらまる光栄であり、今後はこの表彰を支えとして、表彰の名を汚すことなく、それぞれの力のおよぶ限りで町発展のために尽くしていきたい……」と受賞の喜びをのべました。

高橋俊一氏に

町自治功労章を

また、この表彰式といっしょに町自治功労者礼遇規程による自治功労章の贈呈式も行われ、昭和二十九年から本年七月まで町議会議員として活躍してこられた高橋俊一氏(宇戸坂)に自治功労章が贈られました。

山小四年)・石綿由紀子(東中二年) ポスターの部 金賞 小野光子(宿小四年)・小野佳春(東中二年)・大日向サチ子(本荘高校下郷分校二年)

猪股友子(宿小二年)すべらないスリッパ・町発明同好会長賞 佐々木真由美(宿小3年) 磁石式九九練習機・町議会議長賞 佐藤敏也(宿小二年)安全ヘルメット・公民館長賞 佐々木精人(宿小二年)ニューパチンコ

一等賞 鈴木博昭(袖山)水稲ヨネシロ・阿部トミ(杉森) 葉たばこ・阿部百合子(野田) 大豆・長谷山ヨシエ(田代) 白菜・阿部淳子(蔵)ゴボウ・長谷山房雄(下通)木炭・遠藤トミ子(小倉)くり・畑山忠巳(土場沢)春蚕・佐藤ツルヨ(家の下)びん詰・佐藤ミサオ(新処)漬け物・梅津タケ(大琴)漬け物・長谷山ヨシエ(田代) 果実酒・高橋ハツエ(館合新田) 果実酒・畠山長助(館合新田) リンゴ・畠山耕助(館合新田) リンゴ

木ミネ(大琴)

梅津ヤス(大琴) ワラ工芸・こだし等の部 優秀賞 佐藤カノ(新処)

その他の部

優秀賞 五十嵐泰宗(上通)

消防・防災展

作文の部 金賞 畠山誠(袖

発明工夫展

発明協会秋田県支部長賞 小松一久(玉米小五年)万能安全ステップ・小野良子(老方小五年)夜光つきスイッチ

各賞金賞

町農協長賞 小松史子(東中三年)しゃくし・町商工会長賞 石綿伸朗(宿小二年)便利な封筒・大日向商會賞

学校賞

東由利町長賞 宿小

農業祭

秋田県知事賞 阿部トミ(杉森)葉たばこ・長谷山ヨシエ(田代)果実酒・畠山長助(館合新田)リンゴ



老方小学校の

校歌ができました

これまで制定された校歌がなかった老方小学校では、このたび校歌を制定し、十一月二十三日に発表会が行われることになりました。

校歌は、歌いやすく、しかも郷土を歌っているもの、という事で、地区の方々から歌詞

を募集したところ、卒業生や一般父兄などからたくさん応募があり、父兄をメンバーとした制定委員会で審査の結果、同校の志村広志校長の作品が一席に選ばれました。
作曲は、昭和四十五年から四十八年まで同校の先生をしていた佐藤清子先生（本荘市在住）に依頼した作品です。
校歌の制定には、子どもたちも大喜びで発表会を目ざして現在猛練習をしています。
校歌は、誰のころにも残り愛されています。同校歌もまた児童たちにも、地区の人たちにも、いつまでも愛されていくことでしょう。

♩ = 92 明るく澄んで

なうかいの たーがぬはーるーか に
けがれない せんこのゆきーは
うつくしいころはぐみ うつくしい ころはぐみ
おーいーかたのー ころをみまもる

老方小学校校歌

作詞 志村広志
作曲 佐藤清子

一、鳥海の高嶺はるかに
けがれない千古の雪は
美しい心はぐくみ
老方の子らとみまもる

二、高瀬川とわに流れて
たゆみなくせせらぎ水は
まなびゆく心、ふけない
老方の子らをはげます

三、山の子の 緑がたりう
若草は深雪にたみて
たくましくそだつ花よ
老方の子らはすずやか

防火

袖山小四年 島山 誠

現在、秋の火災予防運動期間中です。毎年、この期時は暖房器具や電熱器具などの不注意取り扱いによる火事が多発して、多くの財産を灰にし、それは時として私たちの生命さえも奪います。火事の恐ろしさについては、今さら申すまでもありませんが、これから雪の季節に向けて火の取り扱いには一人一人が十分に気をつけましょう。
防火——生活文化・農業祭の消防展で、小学校作文の部で金賞を受けた袖山小学校四年の島山誠君の作文を紹介します。

おと年の夏、ぼくは友だちの紀悦君といっしょに、紀悦君のおかあさんとおとうさんが山にすぎなえを植えるのを見にいってしました。

大吹川の消防団には、部落のおとうさんたちがはいています。消防団の人たちは用水池の草をかったり、はり金をまわしたりして見まわっています。火事がなくても年に何回か、機械を動かしています。
ぼくの家は五大家族ですが、男はぼくとおとうさんだけでおとうさんが出かせぎに行けば男はぼくだけになります。
おとうさんが出かせぎに行ったらあとで火事になったら大へん

青年習習へ 君もチャレンジしてみないか

公民館では、在町青年を対象に「ヤングチャレンジセミナー」を開設しています。
このセミナーは、◇自分のできることは何か ◇自分の意見を持つ青年になろう ◇青年の仲間づくりをする の三つをテーマに、青年が社会の中で果たす役割を考え、そして「青春の条件」を考えていこうとするものです。

いつでも、誰でもが参加できるのがこのセミナーの特色で、十一月と十二月の毎週木曜日（全部で八回）、午後六時三〇分

です。おかあさんは妹の春子をつれていかなければいけないしおばあさんは、年よりだからにげるのがやっと思ひます。ぼくは、そんなとき牛を二頭ひっぱってにげようと思ひます。それよりも、火事にならないようにみんなを気をつけることがだいじだと思ひます。夜ねるときは、おかあさんが火のしまつを見ます。
石油ストーブやガスコンロはみんなを気をつけています。マッチでいたずらは、ぜったいしません。
ぼくは、山火事しか見たことがありませんが、これからも火事のない袖山であればいいなあと思ひます。

から公民館学習室で開講していただきます。
学習内容は、郷土社会や政治経済のことなどについて、講義や討論を通してチャレンジするもので、ゲームやダンスなども用意されています。
三回目の十一月十八日は、話し方に「チャレンジ」野外スポーツをグループで「計画」されています。
若いキミ！ 君も君の青春にチャレンジしてみませんか。詳しいことについては公民館へお尋ねください。